

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2023年7月7日

事業ID: 2022S01045

事業名: 広島県尾道市の「子ども第三の居場所(A)」常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供(2022)<2021A>

団体名: 社会福祉法人尾道市社会福祉協議会

代表者名: 会長 加納 彰

TEL: 0848-21-3032

事業完了日: 2023年3月31日



■契約時

事業費総額	:	590,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	590,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	590,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	590,000 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

旅行体験の提供(1)期間: 2023年3月29~30日(2)場所: 大阪府内(3)対象者: 子ども16名(4)内容: 今春b&g尾道を卒業する児童の希望を受けて行き先を変更する。大阪万博公園記念公園などを訪れる予定で、名所の歴史など事前学習も行う(記述者注: 申請後に変更届を提出し、承認いただいた際の内容です)

■事業内容1

(1)支援契約書記載の事業内容(予定)

旅行体験の提供(1)期間: 2023年3月(2)場所: 鳥取県大山町(3)対象者: 子ども14名(4)内容: 家庭で体験しておらず、地域柄、学校でも実施できない冬山での活動を通じ、自然の豊かさに触れるとともに仲間の絆を深め、卒業前の思い出づくりをする。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

旅行体験の提供(1)期間: 2023年3月29~30日(2)場所: 大阪府内(3)対象者: 子ども16名(4)内容: b&g尾道を卒業する児童の希望を受け、各所の歴史など事前学習を行った上で、大阪万博公園記念公園などを訪れ、見聞を広めた。



(3)成功したこととその要因

当初は他県への遠足を予定していたが、在籍歴4年の卒業生2名の意向を取り入れ大阪旅行を行った。当該児童2名は、施設利用当初は自己中心的なふるまいがみられたが、施設に通う中で成長し、この度の旅行でも他の低学年児童を引っ張る姿が目立った。親元を離れての旅行が初めての児童もいたが、6年生を中心にまとまり、気持ちの良い2日間を過ごすことができた。

(4)失敗したこととその要因

特になし(上述の通り、申請段階と計画が異なるが、変更申請後の計画に則って実行できた)